

2 令和4年度下半期の財政状況

○概況

令和4年度下半期においては、国補正予算と歩調を合わせた補正予算を編成し、喫緊の課題に対処しました。また、法人二税等の県税や地方交付税などが当初見込みを上回ったことから、これらの歳入を増額補正する一方で、県債の発行抑制や償還の前倒し、基金残高の確保を図り、将来世代の負担軽減や当面する課題への対応を図ることとしました。

○予算の補正状況

令和4年9月定例会議における補正予算編成後に生じた新たな課題や国の補正予算等への対応、さらには年度内における各事業の執行状況や最終的な財源見通しに基づく所要の調整等のため、予算の補正を行いました。その結果、令和4年度の最終予算額は、次のとおりとなりました。

一般会計	7,020億7,479万1千円 (対前年度最終 ▲711億8,086万4千円、▲9.2%)
特別会計	2,494億4,731万円 (対前年度最終 +121億7,249万2千円、+5.1%)

付表 第9表 令和4年度下半期の歳入歳出予算の補正状況 → 51ページ

第10表 令和4年度一般会計性質別歳出予算（最終予算の比較） → 52ページ

○補正予算の主な内容

令和4年11月定例会議における補正予算

<国補正予算関連 令和4年12月21日県議会定例会提出>

国補正予算等に関する事業について、一般会計で238億2,816万2千円の増額補正を行いました。主なものとしては、原油価格・物価高騰対策や出産・子育て支援、防災・減災、国土強靱化に係る公共事業に要する経費などを計上しています。

令和5年2月定例会議における補正予算

<令和5年3月9日県議会定例会提出>

各事業の執行における不用額等を調整するための減額を行うとともに、将来に向けた対応として、財政調整基金や県債管理基金の残高の確保、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会運営等基金や県立高等専門学校整備運営基金などの特定目的基金への積立額の増額、県債償還の前倒しにより、47億6,370万3千円の増額補正を行いました。

特別会計では、保険給付費等交付金の増など国民健康保険事業特別会計ほか5会計で増額補正を行うとともに、償還金の減などにより中小企業支援資金貸付事業特別会計ほか3会計で減額補正を行いました。

<繰越明許費 令和5年3月15日県議会定例会提出>

令和4年度予算のうち、地元や関係機関との調整などに時日を要し、年度内に事業執行の見通しが得られない事業について、繰越明許費の補正を行い、一般会計で106件、515億5,359万1千円を翌年度に繰り越しして使用し、事業の進捗を図ることとしました。

○予算の執行状況

一般会計については、収入は、国庫支出金や繰入金などで前年度を上回っていること、また、支出も総合企画費や健康医療福祉費などで前年度を上回っていることから、収入・支出とも全体として前年同期を上回る割合となっています。

一方、特別会計については、収入は、母子父子寡婦福祉資金貸付事業や沿岸漁業改善資金貸付事業などで前年度を上回っていること、また、支出も市町振興資金貸付事業や中小企業支援資金貸付事業などで前年度を上回っていることから、収入・支出とも全体として前年同期を上回る割合となっています。

令和5年3月31日現在における収入および支出の状況

一般会計	予算に対する収入割合	84.8%	(前年同期 83.2%)
	支出割合	79.5%	(前年同期 78.5%)
特別会計	予算に対する収入割合	97.2%	(前年同期 96.8%)
	支出割合	94.4%	(前年同期 93.5%)

付表 第11表 令和4年度予算執行状況（令和5年3月31日現在） → 53ページ

○一時借入金の状況

年間の予算執行に当たって支払資金が不足する場合に、その不足を補うために一時的に当座借越等により借入を行っていますが、その状況は次のとおりです。

一般会計			
令和4年度借入限度額	1,200億円	(前年同期 1,200億円)	
令和5年3月31日現在の借入額	－円	(前年同期 ー円)	
下半期の最高借入額	501億円	(前年同期 485億円)	